

会場⑤ー2 高山村立高山小学校

- 児童会でも SDGs に繋げた活動を児童たちで考えて取り組んで、意識を高めて行こうとしている様子が伝わってきました。また、地域や PTA と協力し合い、児童たちと大人たちが一緒に学ぶ機会があることもとても印象的でした。そして、児童たち自身で考えた活動を自分たちで主体的に活動している様子が伝わりました。
- 素敵な発表をありがとうございました。地域の方から学ぶ「わくわく村」の取り組みは面白いと思いました。災害時に役立つサバイバル飯など面白そうな講座ばかりだと思いました。高山小学校のみなさんは SDGs の一つ一つの内容を理解して取り組んでいることが伝わってきました。
- 素敵な発表ありがとうございました。漠然と SDGs に取り組むのではなく、どのゴールに対して、どのような活動が必要なのかが考えられていたところが良かったと感じました。SDGs をしっかりと理解しているのだなと伝わってきました。
- 学校と地域が強くつながっているはとても良いと感じた。学校内だけではできないこと、教師だけでは目が届かなくなってしまう場合があっても地域の人との密着があれば様々なものに挑戦することができると思った。8つの隊の内容はどのようにして決めたのか気になった。
- 生ごみ再生を学んだことから、ごみを減らすために自分たちにもできることはないのかということを考え実行に移していく様子から、大きな問題を解決するために身近な問題から解決していくという問題解決の本質に近いものを感じ取りました。これからも8つの隊の活動を引き継いでいながらゴミの少ない未来づくりのための活動を続けていっていただきたいです。素晴らしい発表ありがとうございました。
- 沢山の活動を通してこの活動は SDGs のどの項目を満たしているのかを見ることで生徒の関心がより高まると思いました。社会科で学んだゴミについて、興味を湧いて相互の学習として自分達にも出来る事がないのかという教科の繋がりがあって素晴らしいと思いました。
- 地域の人や保護者、公民館などとのつながりが多く、活動の幅が広くていいなと思いました。高山村のゴミが栄養のある土に変えられていることを知ったり、3R から様々な隊を作り上げたりと、社会科から学んだ内容をよく活かすことができていると思いました。再利用などをして作った作品のクオリティがとても高かったです。
- 高山村が生ごみを出さないというのはすごい取り組みですね。今回は全てのチームのことを詳しく聞くことができなくて残念ですが、ほかのチームの取り組みも聞いてみたいと思いました。Tシャツを作り変えるという活動では、考えるだけではなく実際に自分たちで作るところまでやっているのが素晴らしいと思いました。
- 素晴らしい発表をありがとうございました。高山村立高山小学校の4年1組のみなさんは、学級目標を立てる際、児童達の中から SDGs という言葉がでて、そこから SDGs に関心を持つようになったとありました。

SDGs について調べ、そこから SDGs の歌を歌い、全校に広めていく活動をしていました。特に印象に残ったのは SDGs の目標を達成するために「目的・意義」「具体的な活動」をそれぞれに挙げて、実践している点です。4 年 1 組では「～～隊」というグループごとに役割を変え、その隊で何をするのか？その活動で何を達成したいのかを各々に明確にしていました。そして、学級訪問で活動を紹介する際には、具体的にどのような活動が自分たちに出来そうかを紹介することでうわべだけの活動で終わらせないという思いも伝わりました。今後、高山小学校 4 年 1 組の活動を多くの人に広め、たくさんの「～～隊」ができることを願っています。私も「～～隊」を出動させます！

- 発表からごみをつくりかえて新しい価値を生み出すよさを伝えたいという思いが伝わってきました。今回の発表を聞いて私もこれからいらぬものを使えるものにつくりかえて再利用していきたいと思いました。発表ありがとうございました。
- SDGs について深く考え始めたのは中学生くらいだったのにこの時期から考え自分には何ができるのか、体験を色々行ったりと多くの学びができたのではないかと感じます。自然に囲まれているから環境について興味がわくが、都会だと環境への興味がわきづらいと感じました。
- 児童会の SDGs への取り組みやわくわく村、ゴミを減らすための活動など高山小学校の様々な活動について知ることができました。特にゴミを減らすためにいらぬ服をぞうきんやマイバッグにする活動が印象に残った。子どもが作ったマイバッグを見させてもらったがとても良くできていて驚きました。
- 小学生ながらに SDGs を意識するマインドが身につけており素晴らしいと思いました。また SDGs を知識として身につけるだけでなく、ごみを減らすための活動を通して自分たちで達成するものとして考えていることできておりとても参考になりました。
- SDGs の活動に関してリサイクル、リデュース、リサイクルなどの視点から考えてみたり、自分たちにもできることはないかと模索している姿は自分も見習わなければならないと感じました。また SDGs について他学年にも知ってもらおう活動も行っていて、周りにも影響を及ぼすいい活動だったのではないかと思います。
- これから課題になってくる環境問題に真剣に向き合っている姿が伝わりました。地域の人々と協力することは SDGs の解決に近づく方法の一つであると思うので、良い取り組みであると思いました。グループ活動は協同する力を育むことに最適な活動であるので、これからも続けていってほしいです。
- 地域とのつながりの深さがとても伝わってきました。また、総合的な学習の時間以外での学びを、総合的な学習の時間に生かして、様々な方向から SDGs のために活動していることがよくわかりました。具体的な物を提示しての発表は、非常に伝わりやすかったです。
- 地域との連携活動については、目に浮かぶような詳しい説明でした。その中でも、「総合的な学習の時間」でのゴミ出し大作戦の発表が印象に残りました。社会見学がきっかけとなり、3R を意識して 8 つのグループに分かれ、自分たちにできることを始めたとのことでした。コロナ禍で学校外での活動が制限されている中、それでもできることを考え、工夫して行っていることが伝わってきました。コロナ収束後の、地域に広げた活動に期待しています。

- SDGs 観点で児童会を進めており、良いと感じました。社会見学でゴミの施設を見て自分たちでゴミ拾いをしようと考えたことがすごいと思いました。8つのチームが行っていることは一つ一つ社会に良い貢献をしていると思います。とても良い活動です。特にTシャツからマイバッグを作っていることが素敵でした。発表の準備も丁寧になされており、自分自身も学ぶことがあったと思いました。
- ごみのリサイクルや自分たちの使わなくなった服を使ってエコバックやぞうきんを作るなど八つの部門に分かれて調べ学習をしていてとても良いと思いました。長野県の川から海でのプラスチック問題に触れていくという活動もすばらしいと思ったのでこれからも疑問に思ったことを調べるということを大切にして環境について学んでいっててください。
- 自然やごみ問題についてよく調べられていました。特に、紙のリサイクル箱を新聞紙で作ったりペットボトルでコップなどを作ったり具体的な行動を起こしていてすごいと思いました。川のプラスチックごみに関して、普段長野県に住んでるとあまり気づけないことであると思うので、さらにいろいろなことを調べてみると面白いと思いました。
- 委員会の活動でSDGsに繋げた活動を行っていて、SDGsの生徒への関心が増えていることが素敵でした。自然豊かな地域で社会科見学や自然の中でただ過ごすだけでなく、その場所だからこそ学ぶことができることを精一杯学ぼうとしているところがよかったです。長野県は海がないけど、長野県からの水が海につながっていると知ってそこから海を綺麗にしようとする対策やゴミを減らすための方法を考えているのがいいと思いました。
- 3Rに基づいたごみの削減についての発表ありがとうございました。特に使わなくなった服で作ったエコバックがきれいでぜひ使ってみたいなと思いました。児童会が行っている全校でのSDGs活動や地域の方々から学ぶ学習会を今後も続けてほしいなと思います。
- 自分たちで工夫してごみを減らしたり活用したりする活動をしていて素晴らしいと思いました。今後はもっといい方法はないか、自分が実施した活動の問題点は何で、どうすれば解決できるのかを考えていくと、より深い学びになると思います。（例えば、使わない文房具を海外に送る活動は、無駄をなくすという環境的な面から見ると持続可能かもしれません。しかし、文房具を受け取っている海外の方は自分たちで生産して使っているわけではないので、他国から文房具が送られてこなくなると自国でどうすることもできません。それは持続可能といえるのでしょうか？ぜひ考えてみてください！）
- 児童会活動でゴミの削減に取り組んでいると聞き、学校全体でSDGsを考えている点が魅力的でした。また、「〇〇隊」で活動することにより、クラスの中で色々な見方や考え方が生まれるため、とても良い活動だと思いました。更に、各〇〇隊が模造紙に自分達の取組みを書くことで相互に評価し合ったり、意見交換をしたりすることができるため、一人一人の理解が深まると感じました。今後もそれらを発展的な学習に結びつけられるように継続して取り組んで欲しいと思います。
- 自らの生活を省みながらごみ問題について取り組んでいたのが素晴らしいと思いました。
- 「海なし県だからこそ考えなければいけないこと」を高山小学校の発表から考えさせていただきました。私も昨年度まで担任をしていた6年生でプラスチックごみを削減する活動を行ってきました。実際に学校のそ

ばを流れる川へ行き、ごみ拾いを行い、どんなごみが落ちているのかを調査しました。すると、ペットボトルやお弁当のから容器、空き缶など、わずか100mの幅に多くのごみが散乱している現状を目の当たりにしました。「これはまずい」「海に流れたら」等、口々に言い合い、みんなでプラスチックごみの削減に動き出しました。残念ながら新型コロナウイルスの関係でお店でのPRはできませんでしたが、新聞紙によるエコバッグづくりなどをしていきました。高山小学校のみなさんのように、昨年度の活動に対して、自分たちの活動がSDGsの何とつながるのかと、位置づけを行っていければ、より自分たちの活動に自信と前向きさをもって取り組めたのではないかと考えてしまいました。高山小学校の取り組みが世間に発信されたことで、地域の方にどのような変化があったのかも知りたくなりました。ありがとうございました。

- まず「ふるさと学習、地域の為に」という考えで活動をされていることが素晴らしいと感じました。そして児童会を中心にSDGsに取り組まれていることも素晴らしいです。児童会の活動を、SDGsの観点で整理されていることは、自分たちの活動の意味を知ることにも繋がりますし、全校の児童の皆さんへの意識づけになりますね。わくわく村の活動も地域・PTAと一体となって活動されており地域の団結を感じます。ごみをなくすための8つのチーム。沢山のチームで素晴らしい活動をされており、堂々と発表をさせている姿に感動しました。